

# 三臨技 精度管理調査 報告会

## 神経伝導検査

三重県立総合医療センター

坂下 文康

## 問題 1

次の神経と支配筋の組み合わせで、正しいもの一つを選んでください。

1. ~~正中神経~~—第1背側骨間筋 → 尺骨神経支配
2. ~~尺骨神経~~—短母指外転筋 → 正中神経支配
3. 橈骨神経—固有示指伸筋 → ○
4. ~~脛骨神経~~—短趾伸筋 → 腓骨神経支配
5. ~~腓骨神経~~—母趾外転筋 → 脛骨神経支配

正解 : 3      正解率 100% (23/23施設)

## 問題 2

手根管症候群において、運動神経伝導検査で異常を認めることのある導出筋を一つ選んでください。

正中神経支配筋を選ぶ

1. 母指内転筋
  2. 小指外転筋
  3. 第1背側骨間筋
  4. 第2背側骨間筋
  5. 第2虫様筋
- 尺骨神経支配
- 正中神経支配

正解 : 5

正解率 100% (23/23施設)

## 問題 3

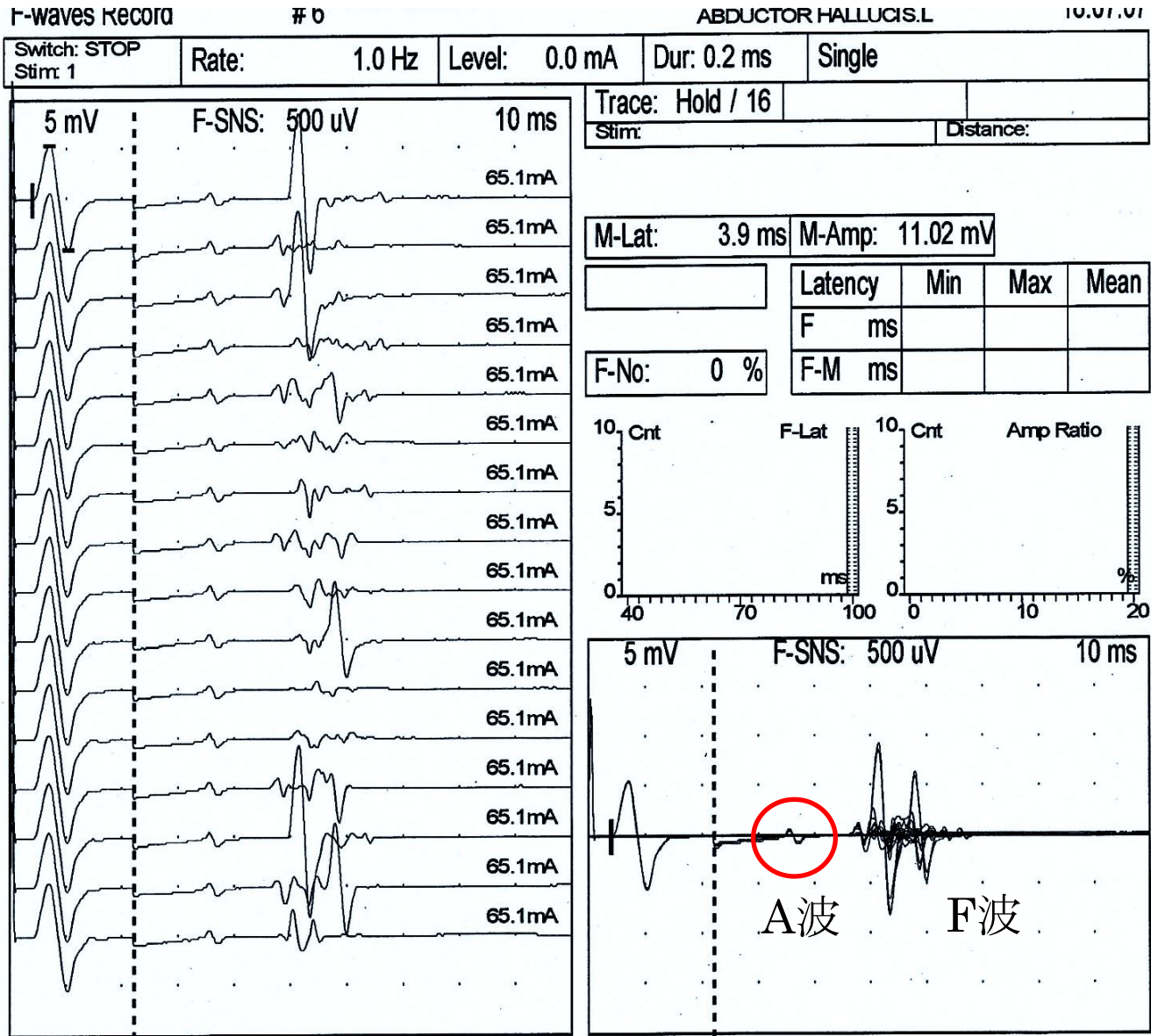
次ページの図 1 は脛骨神経F波の記録例である、正しいものを選択肢より一つ選んでください。

- a. F波最短潜時は著明に延長している。
- b. F波最短潜時は33ms程度である。
- c. A波が出現していると考えられる。
- d. F/M比の大きいものを認める。
- e. アーチファクトの混入が多く、再測定すべきである。

選択肢    1 : a,b        2 : b,c        3 : c,d  
              4 : d,e        5 : a,e

図 1

# 脛骨神経 F波 (70歳、女性、身長 160cm)



# F波について

- 患者の眠気によって変化
- 筋電図の混入が多ければ、評価困難
- マーク位置に個人差が出そう。それF波？
- F波とA波が同じような潜時の時、鑑別が困難
- マーキングに時間がかかる
- 繰り返し測定した時、最小潜時の再現性は良い
- 有用な情報が得られる事も多い(長い伝導距離)
- F波が正常範囲なら、末梢運動神経の全般的な伝導性に明らかな異常がない

# A 波

- M波のあとに現われる後期反応
- 単一運動単位内で軸索側枝からもう一方の軸索側枝へ反転するインパルスに起因
- 前角細胞の再発射を必要としないため、繰り返し刺激によっても潜時や波形が変動しない
- ニューロパチーの患者で頻繁に認められる
- F波より前に出現することが多いが、伝導に時間がかかる場合、F波内あるいはF波のあとに出現する

### 問題 3

次ページの図1は脛骨神経F波の記録例である、正しいものを選択肢より一つ選んでください。

- a. F波最短潜時は著明に延長している。
- b. F波最短潜時は33ms程度である。
- c. A波が出現していると考えられる。
- d. F/M比の大きいものを認める。
- e. アーチファクトの混入が多く、再測定すべきである。

選択肢 1 : a,b      2 : b,c      3 : c,d  
4 : d,e      5 : a,e

正解 : 3      正解率 96 % (22/23施設)



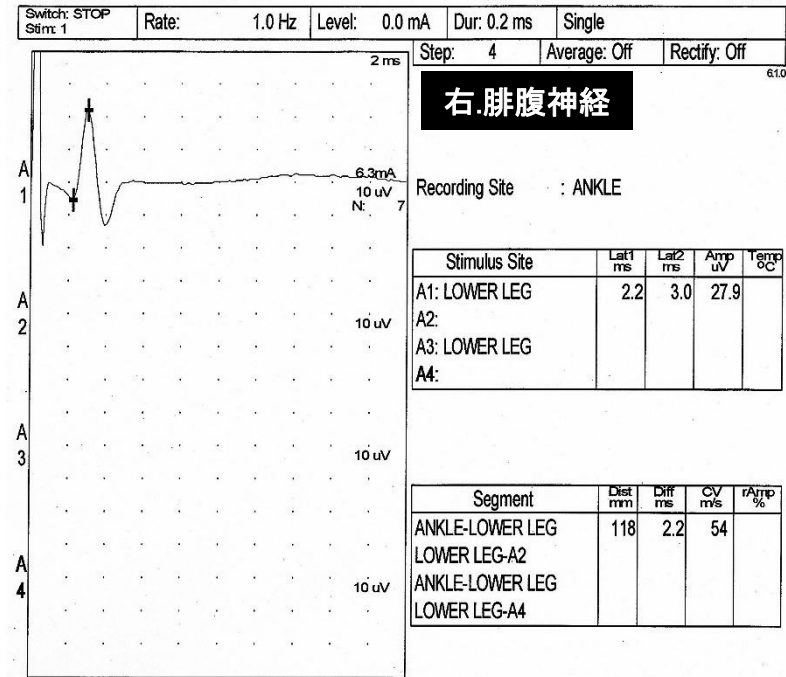
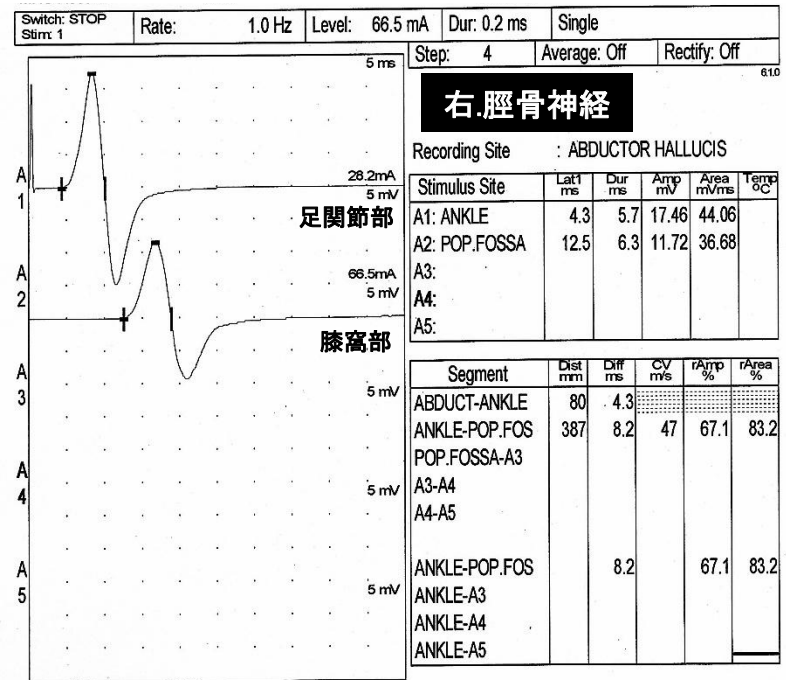
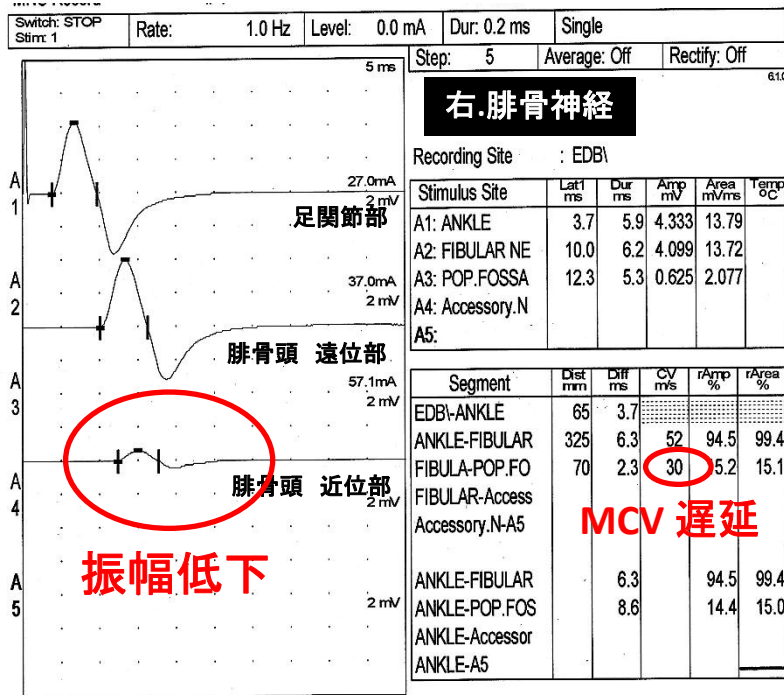
## 問題 4

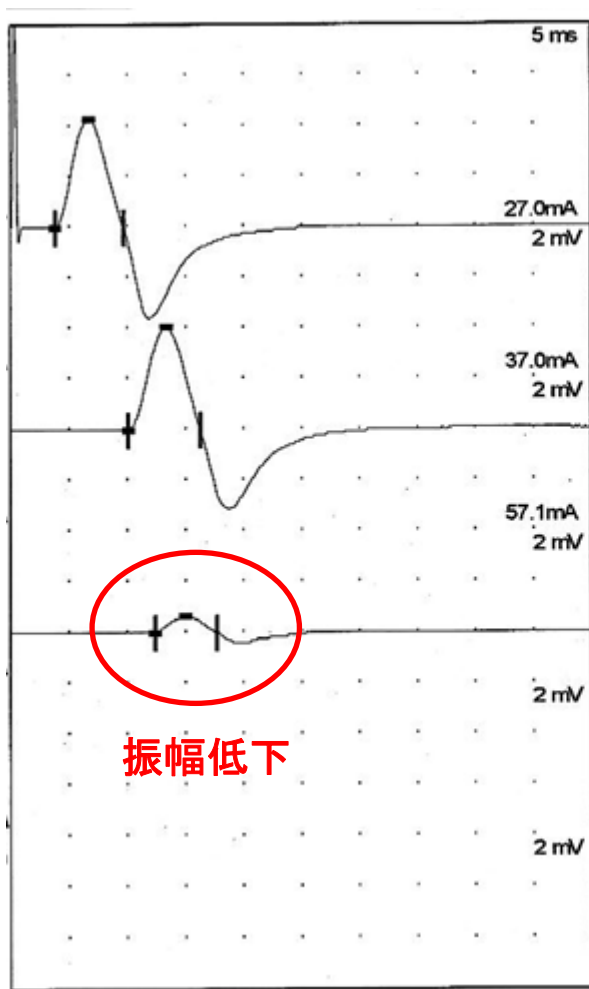
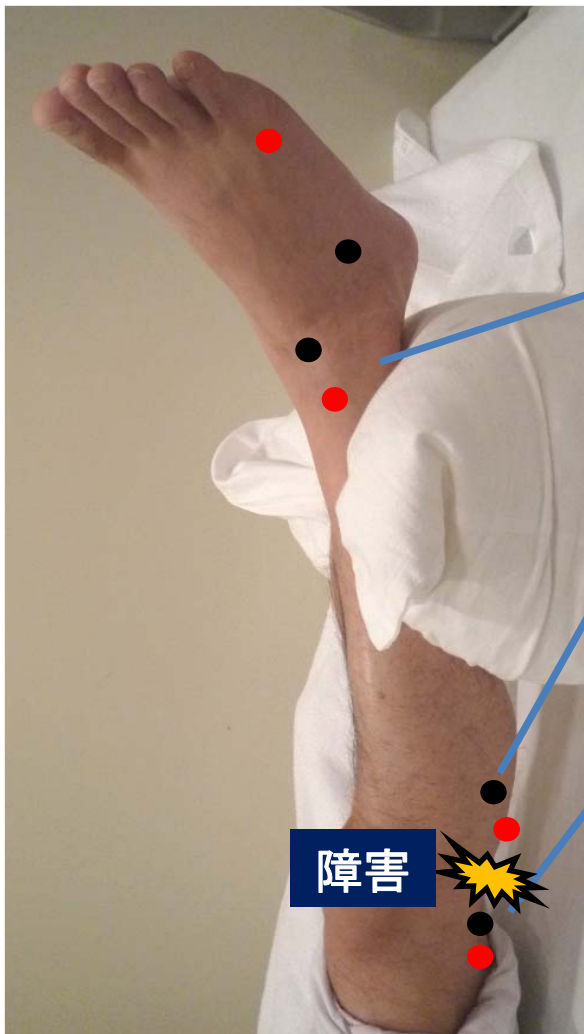
次ページのNCS波形より、最も考えられるものを一つ選んでください。

1. Guyon管症候群
2. 前骨間神経麻痺
3. 後骨間神経麻痺
4. 腓骨神経麻痺
5. 足根管症候群

36歳・女性 身長 166cm

主訴: 右足首の背屈障害





Step: 5 | Average: Off | Rectify: Off  
610

Recording Site : EDB\

Stimulus Site	Lat1 ms	Dur ms	Amp mV	Area mVms	Temp °C
A1: ANKLE	3.7	5.9	4.333	13.79	
A2: FIBULAR NE	10.0	6.2	4.099	13.72	
A3: POP.FOSSA	12.3	5.3	0.625	2.077	
A4: Accessory.N					
A5:					

Segment	Dist mm	Diff ms	CV m/s	rAmp %	rArea %
EDB\-ANKLE	65	3.7			
ANKLE-FIBULAR	325	6.3	52	94.5	99.4
FIBULA-POP.FO	70	2.3	30	15.2	15.1
FIBULAR-Access					
Accessory.N-A5					
ANKLE-FIBULAR		6.3		94.5	99.4
ANKLE-POP.FOS		8.6		14.4	15.0
ANKLE-Accessor					
ANKLE-A5					

MCV 遅延

正解 : 4. 腓骨神経麻痺

正解率 96 % (22/23施設)